

(公財)とやま国際センター広報誌

TIC NEWS

2024
(10)
Vol.153

インタビュー
グエン・タン・ダンさん

- ・講座、イベント情報
- ・JICA富山デスクからのお知らせ
- ・世界のあれこれレポート
- ・作ってみよう!世界のレシピ

Live Together In Toyama

自身の経験や思いを若い世代へ伝える～多文化共生のために願うこと～

小矢部市の閑静な住宅街に佇む緑に囲まれたログハウス。木のぬくもりを感じるモダンな事務所は、時に富山で働く外国人の憩いの場として開放されます。日本で学び、働き、起業した経験と知見を活かして、若い世代の外国人サポートに尽力するダンさん。その足跡や多文化共生に対する思いについてお話を伺いました。



グエン・タン・ダン

ベトナム フート省出身。2001年来日後、富山国際学院を経て、富山大学、同大学院を卒業。小矢部市在住。県内企業に11年間勤務ののち起業し、2023年に合同会社dandanを設立。外国人技能実習生の支援や県内企業向けのコンサルティングなどを行う。

——富山に来られたきっかけは？

一番大きなきっかけは兄です。当時、僕は高校を卒業する時期で、兄は国費留学生として富山に留学していました。兄のようになりたいと思い、ベトナムの大学に入って、そこから国費留学しようと思っていました。しかし色々あって国費留学を断念し、私費でもいいから留学したいと思うようになりました。そんなときに兄の知り合いだった川渕映子さんにベトナムでお会いしました。川渕さんは富山の方で、「アジア子どもの夢」の活動としてベトナムに小学校を建てられて、そのスタディツアーに参加した時にお会いしたんです。実際に私費留学が決まったとき、川渕さんのご主人に保証人になっていただきました。そうして2001年の9月、18歳のときに初来日し、富山国際学院に入学しました。出会いは20年以上も前ですが、川渕さんには今も仕事の帰りに愚痴を聞いてもらっていて、日本のお母さんという感じです。

——日本に来て苦労したことはなんですか？

一番苦労したのは、やはりお金のことでしょうか。最初の入学金は兄がなんとか用意してくれましたが、その後はアルバイトで授業料や生活費を稼いでいました。いつもぎりぎりです生活するという感じです。一番遊びたい時期でしたが、「遊ぶ＝アルバイトをする時間がなくなる」という感じでした。そんな中で日本語があまり上手ではなかった僕にも、アルバイト先の店長さんはとてもよくしてくれました。留学生が珍しかった時代でしたが、外国人に対してとてもオープンに接してくれる方でした。その店長さんがいなかったら今の自分はいないかもしれません。

——小矢部市に住むようになった経緯を教えてください。

富山国際学院を卒業した後、富山大学工学部に入學し電気電子システムを専攻しました。当時は留学生が少なく、留学生向けの授業もなかったため、一般教養も専門科目もすべて日本語で日本人の学生と同じように学びました。その後大学院にも進み、就職については「ここでベトナムに帰ってしまうのはもったいないし、日本で仕事の仕方をも学びたい」と思ったんです。そこで、ベトナムに進出している日本の企業をターゲットに就活を始めました。ところがちょうどリーマン・ショックの頃で、同じ研究室の先輩はみんな大企業に就職していったのに、自分はなかなか就職先が見つからなくて苦労しました。

ようやく内定をもらった2社のうち、プラスチック成型の県内メーカーへの就職を決め、小矢部工場への配属になりました。とはいっても、そこからすぐに小矢部市に住み始めたわけではなく、就職後5年間ほどは射水市に住んでいました。就職した年に結婚した妻が富山市で働いていたので、お互いの中間地点から通っていました。妻と話し合って、2016年に小矢部市に家建てました。妻の実家がある金沢市から近いので。2021年の年末に11年間勤めた会社を退社し、2022年に起業、同じ年に協同組合Ponteを設立しました。昨年3月に法人化して合同会社dandanとなりました。事業としてはベトナム語の通訳や翻訳、会社勤めで培った技能実習生の監理ノウハウを生かした県内企業へのコンサルティング、特定技能の支援などです。

——ダンさんのところにも相談ごとは入ってきますか？

夜中の1時半過ぎまで相談の電話に対応することもありますね。技能実習生や特定技能の人は夜の9時ごろにならないと落ち着いて電話ができないので。一人あたり40分～50分ほど対応します。仕事とか結婚とか、人生相談みたいな内容が多いです。これから長く日本に住みたい若者もいっぱいいる中で、自分の経験からこういう方向性があるとか、気をつけなければならないこととか、いろんな可能性があるということシェアしています。この会社があるログハウスでイベントを開催するときは、支援している若者とか、ネットワークで知り合った近くに住んでいる若者たちに「遊びにおいで」と声をかけるようにしています。みんなが心身ともに健康で仕事を続けられることが大前提ですからね。

——ベトナムの子どもたちに対しても支援をしておられるんですね？

はい。新湊中央ロータリークラブの方々と、ハノイ北西部のフート省にある僕の母校である小学校に、支援金を毎年届けています。もともと大学院のときに、ロータリークラブから奨学金をもらっていた関係で、長くお付き合いさせていただいてたんです。たまたまロータリークラブの方から「ダン君と繋がっているから、何かベトナムでできることはないか」と声をかけてもらったのがきっかけです。現地に行ったら校長先生の話や、まだまだお金、家族のことや病気が原因で学校に来られない子どもたちがたくさんいるということでした。そうして支援が必要な子ども

に一人につき年間1万円という形で2019年に支援を始めました。支援金はどこかの団体を通してではなく、僕が直接届けています。最初の年は6万円でスタートし、年々増えて去年は11万円になりました。支援の形も、一人年間1万円から「より多くの子どもたちに届けたい」という先生方の要望もあって、事情を一番わかっている先生方に分配を任せることにしました。文房具や服が買えるだけでもとても助かるということで、現地から感謝の声や手紙が返ってきています。日本の子どもたちはなんでも買ってもらって当たり前になっているので、いろいろ感じるところがあります。うちの子どもたちにも「ご飯も食べられない子もいるよ。やってもらって当たり前だと思わないでね。」と伝えています。金額は小さくてもこの活動が続けていくというのが、僕らの考えです。

——富山県(日本)の人たちに対するメッセージや願うことはありますか？

富山の自然豊かなところがとても好きです。パワーをもらえるところが多いと思います。僕は特に称名滝が好きで、4人の子どものうち全員、少なくとも1回以上は行っています。

願うとすれば、外国人を温かく受け入れてほしいということでしょうか。国民性の違いもあるかもしれませんが、僕らは、ベトナムで日本人を見かけるとつい話しかけてしまうんです。けれど日本では外国人を見るとスッと逃げてしまう感じ。そこにギャップを感じてしまうことがあります。今後少しずつでもそうしたギャップがなくなっていくと良いと思います。行政や地域の外国人支援においても、体制を作って終わりではなく、彼らの悩みや問題に深く踏み込んで、根本的解決に向かって寄り添ってほしいと思います。せっかく体制を作ったのに悩みや問題の解決に結びついていないとしたら、もったいないでしょう。



国際交流ひろば～世界のお菓子教室～

各国の国際交流員とその国のお菓子を作って学べる「世界のお菓子教室」。第1回に「ロシアのお菓子」として“メドヴィーク”、第2回に「韓国のお菓子」として“ホットク”を作りました。小学生から高校生までの参加者が、みんなで協力してお菓子を作る姿はとても印象的でした。参加者からは「食べたこともないお菓子を自分で作ることができて楽しかった」「世界のことを知る良いきっかけになった」などの感想が寄せられました。

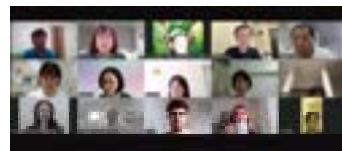


第1回 English Immersion Classroom

今年度の新規講座として「English Immersion Classroom」を行いました。ソライスさんの“2 Truths and 1 Lie”や“Hangman”などの英語ゲームでアイスブレイキングをした後、フィービーさんの“Third Spaces”という都市環境を考えるワークショップがありました。会社でもない家庭でもない「第三の場所」の大切さについて英語でグループディスカッションを行いました。最後の“アメリカンスーパーヒーローコミックの歴史”では、知っているようであまり知らないコミックの歴史、アメリカ社会におけるスーパーヒーローコミックの役割などについてマツさんから学びました。中学生から大人までの18人の参加者からは「英語を勉強するだけでなく富山に住む人達と対話ができ楽しかった」などの声がありました。次回の第2回目は12月8日(日)に開催予定です。

Conheça o Brasil

Conheça o Brasil(ブラジルにふれよう)の3ヶ月に1回行われるイベントの一つとして、ブラジルとのオンライン交流を9月7日(土)日本時間で20時、ブラジル時間で8時から行いました。自己紹介のあとグループに分かれ、ポルトガル語で30分、日本語で30分会話する時間には、お互いがゆっくり話したり、やさしい言葉に言い換えたりして助け合いながらコミュニケーションしていたのが印象的でした。参加者の方からは、ブラジルに住んでいた時のことを思い出した、楽しかったとの声をいただきました。



TIC 基礎日本語教室(秋)が開講しました!

9月からの秋季日本語教室を開催しています。会場はとやま国際センター。入門、初級クラス合わせて約20名が簡単な挨拶や日常会話などを楽しく勉強しています。

初級対話クラス受講生 募集中!

日時	12月15日～3月2日 日曜日 10:00-11:30 全6回
内容	初級対話クラス(簡単な会話からはじめます)
場所	とやま国際センター(富山市牛島新町5-5インテックビル4F)
定員	10名(先着) 受講料 2,000円

お知らせ

多文化理解連続講座(第1回&第2回)

富山に縁のある海外在住者を講師に迎え、各国の歴史や文化等について紹介する多文化理解連続講座を開催します。

(第1回) 10月26日(土) 10:00～11:30

テーマ 「キルギスからの便り～ユーラシアの真ん中で子どもたちと ORIGAMI」

(第2回) 11月9日(土) 13:30～15:00

テーマ 「ボリビアからの便り～ラテンアメリカの多様な文化の魅力～」

定員 会場20名、オンライン20名(各回)

費用 無料 申込 Googleフォームにて受付

国際交流ひろば～世界のお菓子教室～

各国の国際交流員と一緒に、様々な国のお菓子を作ってみませんか?

第3回 11/16(日) 14:00～17:00 ブラジルのお菓子

第4回 12月以降 ※詳細が決まり次第HP等でお知らせします。

対象 小学生以上の方

定員 各回16人(先着) 申込 Googleフォームにて受付

場所 富山県民共生センターサンフォルテ 費用 500円

設立40周年記念 多文化共生フォーラム

(公財)とやま国際センター設立40周年を記念して「多文化共生フォーラム」を開催します。

日時 11月23日(土) 13:30～16:00

場所 高志会館カルチャーホール

内容 第1部:セレモニー 第2部:多文化共生フォーラム
(ジャズシンガーCHIKOさんによるトークショー&ミニライブ)

費用 無料 定員 240名(先着)

申込 要事前申込。GoogleフォームもしくはTELにて受付

国際交流人材バンク通訳者セミナー

TICの国際交流人材バンクにご登録いただいている方、または通訳にご興味のある方を対象に通訳者セミナーを開催します。

日時 11月30日(土) 13:30～3時間程度

場所 (公財)とやま国際センター研修室A

内容 「体験!同時通訳の世界」

講師 井上 美則 氏(LLI井上語学研究所)

対象 TIC国際交流人材バンク登録者または通訳に興味のある方

定員 30名(うち同時通訳演習実践10名・先着順)

費用 無料 申込 申込フォームにて受付

国際交流サロン

時間 18:30～20:00 場所 (公財)とやま国際センター

費用 無料 ※各回の詳細はホームページにてご確認ください。

○ドブリジンロシア ロシアについて日本語で紹介します。

10/22(火)	ロシアの行事食
11/19(火)	ロシアの日常生活・習慣
12/17(火)	ロシアのお正月・年末年始の過ごし方

○Conheça o Brasil ブラジルについて日本語で紹介します。

10/23・30(水)	ブラジルの教育
11/13・27(水)	多民族国家での生活



富山県内の日本語教室 & 学科支援教室など

在住外国人の方々にとって、生活に必要な基本的な日本語能力を身につけることが大切です。富山県内でも、各地域において公的機関やボランティア団体などによって日本語教室や学科支援教室が運営されており、在住外国人の方々と地域とのつながりを生む場にもなっています。身近な外国人の皆さんに情報を教えてあげてください。



富山市他

(公財) とやま国際センター

日本語教室 (入門、初級、初級対話)

クラス

富山市、射水市、黒部市、南砺市の県内各地で開催しています。現在冬期富山教室（初級対話クラス）受付中です。
クラス別の日程、料金、時間等の詳細はホームページをご確認ください

富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

(公財) とやま国際センター 他 (HP参照)

基本日曜日の午前中開催 (HP参照)

076-444-2500

tic@tic-toyama.or.jp

<div>富山市</div> <div>学科支援</div> <div>クラス</div> <div>富山市民国際交流協会</div> <div>(こどもクラス、入門、初級、会話)</div> <div><div></div>富山市新富町1-2-3CiC 3階</div> <div><div></div>レベル、内容で複数あり (HP参照)</div> <div><div></div>076-444-0642</div> <div><div></div>info@tca-toyama.jp</div>



富山デスクからのお知らせ

JICA海外協力隊2024年度秋募集開始!

人生なんてきっかけひとつ。
～世界とつながる 私のキャリア!～

【応募期間】2024年10月1日(火)～10月31日(木)

【募集説明会】

日時:10月5日(土) 14:00～16:00

会場:インテックビル4階 スカイギャラリー



活動内容は十人十色!経験者のリアルな体験談を聞きにきませんか?

↓お申込みはこちらから↓

説明会



個別相談



10月3日(木)～11月5日(火) 関連企画開催!

「JICA海外協力隊 写真・パネル展 ～わたしの好きな中南米～」

会場:富山市立図書館本館3F

協力隊員が見た中南米の魅力を関連本とあわせて展示します。

～みんなが～
誰もが個人として尊重される
地域社会の実現へ Diversity, Equity, and Inclusion

「共創の未来」始動!

このたびJICA北陸は、志を同じくする個人や団体・組織と協働・共創するプロジェクト「北陸における外国とつながる子どもの支援者・団体の連携強化」を始動しました。「共創の未来実行委員会」を立ち上げ、多様な背景を持つ子ども・若者たちが、自己実現を目指せる地域社会の実現に何が必要かを考えるセミナーを開催します。

「外国人材との共生による企業活動の可能性と未来」

日時:10月18日(金) 15:00～17:30
場所:富山県民会館304

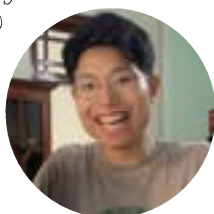
facebook

「富山の教育のDEI&Bをみんなで考えよう～多様な子どもたちの夢の実現のために、いま何が必要か～」

日時:11月16日(土) 14:00～17:00
富山大学五福キャンパス 共通教育棟D21

Field Report

富山県出身のJICA海外協力隊員からの現地レポート



竹林 尚樹 (たけばやし なおき) さん

派遣国 ベトナム

職種 理学療法士

派遣期間 2022年10月～2024年10月

Xin chào! ベトナム中部に位置するクアンチ省の総合病院で理学療法士として活動しています。私の活動しているクアンチ省はベトナム南北戦争時代に激戦地だった場所です。さらに熱帯モンスーン気候帯に属し、冬は冷え込み、夏になると干ばつが発生する厳しい気候で、台風の到来も多く、洪水がよく発生する過酷な地域です。そのため都市部に比べて発展が遅れています。私の主な活動内容は患者さんへの理学療法の実施と、現地の同僚の知識習得や技術向上のための症例検討です。私は脳卒中分野のリハビリテーションを得意としているので、主に脳卒中患者に対する治療の考え方や技術を同僚に共有しています。言語の壁や文化の違いに悩むこともありますが、現地の同僚たちと密に連携を取りながら楽しく活動しています。さらに日々の生活では街の人たちと一緒に食事をしたり、ベトナム料理の作り方を教えてもらったりして人々の温かさに触れながら生活を送っています。残り短い活動期間を少しでもベトナムの発展に貢献できるように尽力したいと思います。



今回のテーマ：持って帰りたい日本の便利グッズor商品は？

BRAZIL ブラジル出身 アリーネさん



日本に来ていつも様々な便利グッズを発見するたびに、「ブラジルにもあればいいのになあ〜」と思う私ですので、持って帰りたいものはたくさんあります。その中で、必ず帰国する時に持ち帰るのは、日本の整理や収納グッズです。例えば、吊るすだけで収納できるラック、収納ポーチ、収納ボックス、圧縮袋、仕切りケースです。地球温暖化の影響で一年中涼しかった出身地が最近暑くなっているため、日本でよく使われているひんやりする冷感衣類、シート、タオル等も持ち帰りたいです。そして、本当にたくさん種類があるお掃除シートはブラジルでも是非販売してほしいです。

RUSSIA ロシア出身 タチアナさん



帰国する時には是非持って帰りたい日本の便利グッズですね、、、私の場合はあまりぱっとは思いつきませんが、日本の100円ショップ(100均)は母国にあたらしいなあと思います。もちろん、ロシアにもfixed price(固定価格)のタイプの店はありますが、日本の100均には負けますね。日本の100円ショップはたまに100円でない商品もありますが、原則は1点100円。しかも日用品から食料品までありとあらゆるものが揃っています。よく100円でこの質のものが提供できるなあと感じます。本当に日本の100円ショップはコスパが最高だと思います。

KOREA 韓国出身 ヘミンさん



私が好きな日本のグッズはめぐりズムホットアイマスクです。今では韓国に輸入されていて、韓国国内でも手に入れることは難しくなりましたが、私が初めて日本を訪問した時(2012年)は日本でしか買うことができませんでした。初めて使用したときは目に熱気が直接あたると感じるような感じにびっくりしてしまいましたが、すぐその暖かさにリラックスできました。今も目が暖かくなる感じが好きで、よく眠れないときや目が疲れたときに愛用しています。

CHINA 中国出身 カ・エンさん



帰国する時にムヒを持って帰りたいです。ムヒは虫刺されやかゆみ、湿疹などの症状に対して即効性が高く、塗布してかゆみや炎症などをすばやく鎮めてくれます。それに、さまざまな種類のムヒがあり、特定の症状に合わせた製品が選べます。例えば、敏感肌の人や子供でも使用できるやさしい成分のもの、炎症がひどいとき用のステロイド入りのもの、虫刺され以外の肌のトラブルに対応するものなどがあります。また、ムヒは小型の容器が多く、コンパクトなサイズがバッグやポケットに簡単に収納できるので、外出先でもすぐに使える点が優れています。虫に刺されやすい体質の私にとってムヒは大変便利なグッズです。

AMERICA アメリカ出身 アリスさん



少し地味ですが、日本のホテルに用意されているスリッパにハマってしまい、アメリカのホテルになくとも残念に思うので、持って帰りたいグッズはやはり折り畳みスリッパです！アメリカの家では家庭により靴のまま、それが裸足のままで過ごすので、日本のスリッパの習慣に感心しました。しかし、アメリカのスリッパはふわふわで長く持たないものの方が多く、日本ではちゃんとした簡単に持って帰れるスリッパの種類がいくつかあることにびっくりしました。実は、折り畳みスリッパは海外のダイソーにも売っていますが、100均の値段より高いです！

VIETNAM ベトナム出身 タオさん



私はよく書き間違いをしてしまうので、消せるボールペンを持って帰りたいです。安心してどんどん書き込めるので、書いていて気持ちがいいです。インクの色が豊富なのもお気に入りです。手帳やスケジュール表に色分けして書き込めば一目で内容が分かるし、見た目も楽しくて気分が上がります！替芯があるのも◎。あとは日本のビジネス手帳もお気に入りです。ベトナムの手帳と違ってデザインやタイプが豊富なので自分にぴったりのものを見つけられます。スケジュール管理、メモやタスク管理、アイデア出しなどにとても役に立っています。

CHINA 中国出身 ソウ・イヨウさん



中国に持って帰りたい日本の便利グッズといえば、真っ先に頭に浮かぶものはシミとりレスキューです。この製品は、服に付いたシミを簡単に除去するためのアイテムで、小型で持ち運びがしやすいことから、旅行中や外出先でも重宝されます。特に、急な汚れに対して即座に対応できる点が評価されており、使い方も簡単です。ペン型やシート型などのバリエーションがあり、食べ物や飲み物のシミなど、さまざまな汚れに効果的です。日本国内外での知名度も高く、実用性と手軽さが評価されています。





アルゼンチン料理



エンパナーダ empanada



アルゼンチン出身 ミカエラさん

手づかみでパクパク食べられるアルゼンチンの国民的定番料理! ぜひアツアツをお召し上がりください♪



教えてくれたのは...

<材料:生地> (12人分)

小麦粉..... 500g
水..... 120ml
バター..... 100g
塩..... 大さじ1/2

<具材>

ひき肉..... 500g
玉ねぎ..... 2個
赤パプリカ..... 1/2個
にんにく..... 2片
トマト..... 1個
トマトピューレ..... 大さじ2

<調味料 等>

油..... 大さじ1/2
塩コショウ
クミンパウダー } 適量
パプリカパウダー }
卵 (仕上げ用)..... 1個分

(生地)

- ① 鍋に水、塩、バターを入れ火にかけ、バターが溶けたら火から下ろし、ボウルに移して冷めるまで置いておく。
- ② 小麦粉を加えよくこね、まとったらラップをして30分程休ませておく。
- ③ 台に打ち粉をし、ピンポン玉くらいの大きさになるように分け、麺棒を使って厚さ1mm程度に丸く伸ばす。

(仕上げ)

- ① エンパナーダの皮の真ん中に具材を置き、指かフォークを使って閉じる。
- ② 溶き卵を刷毛で塗り、200℃に予熱しておいたオーブンできつね色になるまで(20分程) 焼いたら出来上がり。

(具材)

下準備 玉ねぎ、赤パプリカ、にんにくはみじん切り、トマトは1cm角のダイスにしておく。

- ① フライパンに油をしき、玉ねぎと赤パプリカを炒める。玉ねぎが透き通ってきたらニンニク、塩コショウを加える。
- ② ひき肉を加え、強火で炒める。トマト、トマトピューレ、パプリカパウダー、クミンパウダーを加えかき混ぜながら30分程煮る。途中塩コショウで味を整える。

令和6年度草の根国際活動助成事業募集中!

県内で国際交流・国際協力活動および多文化共生活動を実施している民間の非営利団体・グループで県内に事務所、または活動拠点を有する団体等が主催する事業に対し助成します。

【助成対象事業】

※後期締切:10月25日(金) 必着

1. 国際交流事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円
○異文化交流、異文化理解の増進に資する事業(例:国際交流フェスティバル、各種異文化交流・紹介事業)
○スポーツ・芸術・学術などの国際交流促進に関する事業(例:スポーツ大会、写真展、絵画展、演奏会、映画、上映会、学術講演会)
2. 国際協力事業は助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円
○国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害などへの支援事業(例:災害救援チャリティーコンサート)
○開発途上国への援助・協力支援事業(例:子ども達のための絵本プロジェクト)
○国際協力に関する県民の理解を深めるための事業(例:国際協力に関する講座など)
3. 多文化共生事業は助成対象経費の原則4分の3以内で上限は20万円
○県内在住外国人支援事業(例:日本語教室、外国にルーツを持つ子どもの学習支援など)

(注) 営利目的、または国・地方公共団体の補助金・助成金を受けている事業、参加費など事業収入で経費が賄える事業、観光・語学研修・留学を主たる目的とする事業、必要経費(渡航費を除く)が100万円以上の事業の事業は、交付の対象としておりません。

(公財)とやま国際センター設立40周年



11/23(土)

CHIKOさん出演決定!

(公財)とやま国際センターはおかげさまで設立40周年を迎えました。つきましては皆さまに感謝をお伝えする場として記念行事を開催いたします。入場無料です。お申込みはHPまで!

公式SNSを開設しました!



公式インスタグラム



公式LINE

(公財)とやま国際センターからイベントや講座に関する情報を発信します!



ホームページ



facebook